

データ駆動型化学へのパラダイムシフト

船津 公人 教授

(東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻)

2016年5月30日(月) 14:30-16:00

創成科学研究棟4階セミナー室A

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>



新しい分子構造, 材料, さらにには生産プロセスの研究・開発達成のために, 第4の科学であるデータ駆動型科学にこれまでにない強い期待が寄せられ, 化学分野でも関心が高まっている. 目的物性・特性を持つ新規分子・材料開発である「何を作るか」から, それを「どう作るか」, そしてそれを安定した品質で生産するための生産制御に関わる課題に迅速かつ効果的に対応するには, いまや多くのデータ, 情報の積極的活用が不可欠となってきた. データ駆動型化学へのパラダイムシフトが, 今後の研究のあり方をどのように変える可能性があるのかについて, 分子・材料開発, そしてそれを安定した品質で生産するための生産制御に関わるいくつかの事例を紹介しつつ考えたい.

問合せ先: 触媒科学研究所・長谷川淳也 (hasegawa@cat.hokudai.ac.jp /011-706-9145)

略歴: 昭和58年 九州大学大学院理学研究科化学専攻博士課程修了 理学博士, 昭和59年 豊橋技術科学大学工学部物質工学系助手, 平成4年 同大学助教授, 平成16年~ 東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻教授 現在に至る. 平成23年 ストラスブール大学招聘教授.

受賞: 日本コンピュータ化学会学会賞(2003年5月), 日本化学会・Bulletin of Chemical Society of Japan(BCSJ)論文賞(2001年3月), 対象論文:Bull. Chem. Soc. Jpn., 73, 1955-1965(2000). 日本科学技術情報センター 丹羽賞・学術賞(昭和63年4月)「化学研究における情報管理および設計支援システムの開発」.